

JCI TAKAMATSU



About JCI

『 青年会議所とは 』

history

高松青年会議所とは、まちをより良くする事業を通して、若い人に成長の機会を提供する団体です

【 JCIという記載・呼称について 】

青年会議所は英語で Junior Chamber International と記載されることから、青年会議所という名称を普段利用する際には、略してJCIとし、各団体名をJCI+ 地域名（例：JCI高松、JCI小豆島）と記載・呼称しております。

高松青年会議所の取り組み

まちづくり

まちの活性化、地域経済の活性化を目的とした事業を企画、イベント開催や提言発信など、様々な活動しております。

事業事例：たかまつ国際夜市、飲食店ステッカー事業等

ひとづくり

SDGs・道徳・職場体験など、社会人としての体験を通して学びの機会を提供することにより、学校での教育内容をより深いものにしたたり、学校では学べない内容を、プログラムとして提供しています。

事業事例：わくわくワークチャレンジ、教育実践事業（高松市内小中学校にて開催）等

若手リーダーシップ育成

内部だけでなく外部関係者も共に能力開発や組織力向上となる事業を企画。ワークショップや講演開催や事業発表会開催などを行っております。

事業事例：各月例会、わかもん商店街、チャレンジユニバーシティ高松等

1915

青年会議所はアメリカ・ミズーリ州セントルイスに生まれた青年活動グループから始まりました。活動当初はダンスパーティーのスピーチにて社会貢献を唱え、そのスピーチと実行力が話題となり活動を広げていきました。

1949

日本初のJCIとしてJCI東京が設立されました。その後、各地にJCIが誕生しました。

1951

全国各地で活動していたJCIが集まり、全国的運営の総合調整機関としてJCI日本が設けられました。当時は10地区、506名でした。

1956

JCI高松が設立されました。現在まで、公益社団法人 高松青年会議所として、活動しております。

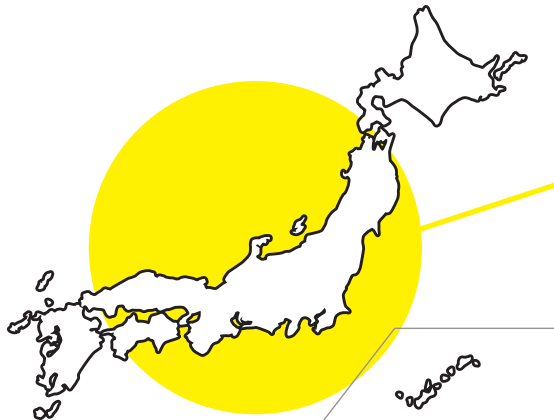
International networks

『 国内外のネットワーク 』



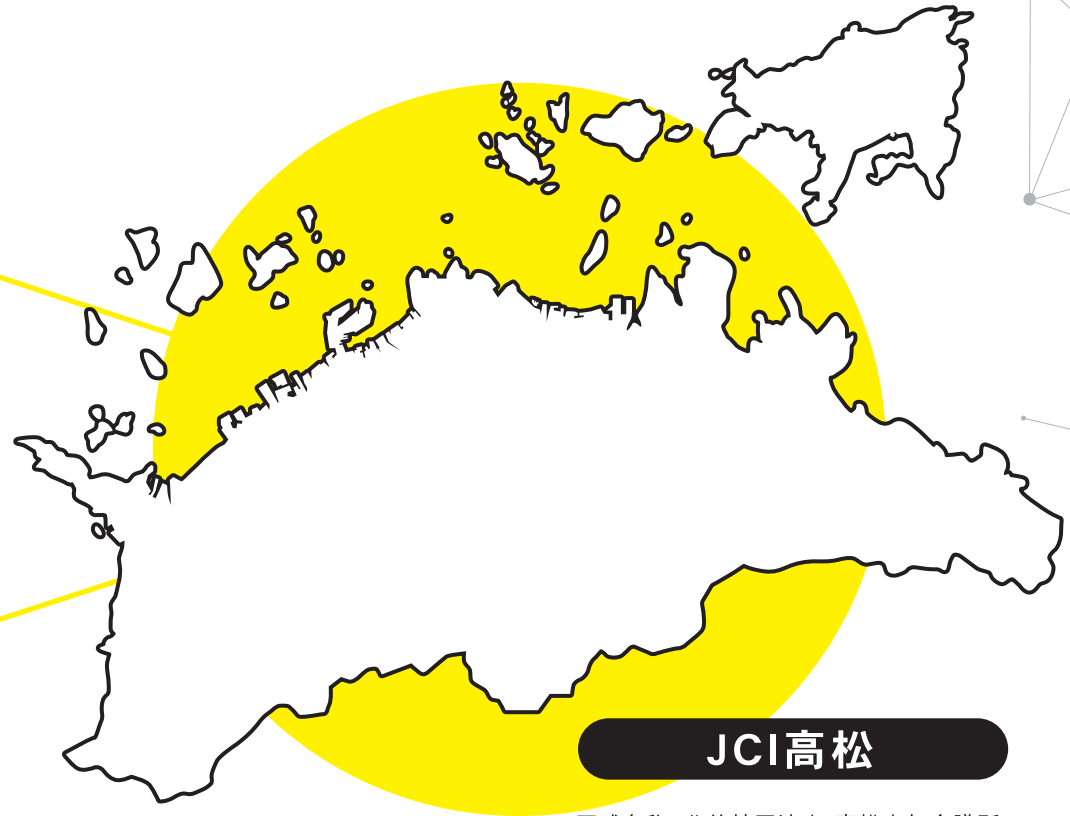
JCI (国際青年会議所)

正式名称: Junior Chamber International
会員人数: 約18万人
加盟国数: 約125か国



JCI日本

正式名称: 公益社団法人 日本青年会議所
会員人数: 約3万人
各地域青年会議所数: 692



JCI高松

正式名称: 公益社団法人 高松青年会議所

提携姉妹JCI

- 海外: JCIフェニックス(台湾)、JCIチョナン(韓国)
- 国内: JCI水戸、JCI彦根

四国地区香川ブロック

- 香川県内: JCI小豆島、JCIさぬき、JCI東かがわ、JCI坂出、JCIみとよ

See by numbers

『数字で見る高松青年会議所』

SDGsへの取組



2019～2020年度実績です。(2年間、43事業)
2019年度より全ての事業でSDGsとの紐づけを必須としています。

多方面で活躍する卒業生



シニア合同例会*、事業参画ほか、様々な場面でシニアクラブ会員との交流を持ち、多数の支援をいただく体制を整えております。

*年に1度、シニアクラブ会員と交流を行う例会を開催しております

多数の協働実績



香川県、高松市、官公庁、大学、地方銀行、一般企業、etc

多様な青年の集合体



青年会議所は20歳～40歳までの団体です。

Recent history

『 近年の歩み 』

- ・提言書「高松に明日があるか」
- ・高松冬のまつり

提言書「高松に明日があるか」での意見が日本経済新聞に掲載されました。また、高松冬のまつりはこの頃から2007年まで継続事業として開催され、その後他団体へと事業継承しました。

インターネットが誕生
昭和から平成へ
瀬戸大橋開通

1980年代

- ・海外JCI姉妹提携調印
JCIフェニックス(台湾)
JCIチョナン(韓国)

まちの活性化の切り札として国際化に取り組みました。海外JCIとの交流により今日の高松のインバウンド活性化へ取り組みました。現在も両JCIとは姉妹JCIとして交流を継続しています。

- ・JCI ASPAC 高松大会
- ・教育実践事業の開始

当時県内過去最大規模である1万人規模の国際会議を実施しました。また、学校教育だけでは難しいところを地域も一体となって取り組む共育という考えのもと教育実践事業をスタートしました。

※ASPACとはJCI Asia Pacific Area Conferenceの略称。

日経平均株価がバブル後
最安値を記録
サンポート高松オープン

1990年代

バブル経済崩壊
阪神・淡路大震災が発生
高松市行政改革計画策定

- ・献血バスサポート事業
- ・飲食店ステッカー事業

コロナ禍での影響が大きいとされる医療・飲食事業者に対しての事業に取り組みました。医療事業者については献血活動を、飲食事業者に対しては店舗における感染症対策をステッカーに記載してあるQRコード読取にてコロナ対策の見える化に取り組みました。

新型コロナウイルス流行
全国非常事態宣言発令

2020年代

東日本大震災が発生
西日本豪雨災害が発生
瀬戸内国際芸術祭開始

2010年代

- ・わかもん商店街
- ・たかまつ国際夜市

わかもん商店街では学生の起業体験を通して商店街の活性化に取り組みました。また、たかまつ国際夜市ではインバウンド向けナイトコンテンツの拡充を通して外国人観光客の迎え入れへの意識醸成へ取り組みました。



Business case interview

『事業事例インタビュー』

未来へ進める力が心を育てる 共に考え、共に支えて広がるひととまち

JCI高松では年間を通して様々な事業を行っております。その中で専門分野の知識を必要とするケースも多く、専門家のご意見をお伺いすることも多々あります。一人、一団体の力ではなく、皆様のお力をお借りし、事業が行えます。高松の未来を共に考え、共に支えてくださる協働者の皆様をご紹介します。



SHOJI
KAWADA

河田 祥司 様

高松市総合教育センター指導主事

新しいことに挑戦する 難しさと素晴らしさ

これまで色々と協働させていただいてきましたが、主に学校に青年会議所のメンバーの方が出向いて授業をやる「教育実践事業」の内容の監修や、子供たちの夢を育む夢育事業の一環である「わくわくワークチャレンジ」のアドバイス等をさせていただきました。協働させていただいて感じたことは、地域の青年経済人である青年会議所のメンバーは「先輩が引き継いできた伝統」を踏まえた上で常に新しいことに挑戦している姿にとっても感銘を受けました。

インタビューの動画が閲覧できます



チャレンジユニバーシティ
高松2020



TADAO
KOEZUKA

肥塚 肇雄 様

国立大学法人香川大学 法学部 教授

若手経済人の集まり ならではの スピーディーな活動

これまでいろいろなイベントで協働させていただきました。昔でいうと公道である美術館通りを歩行者天国にして「タウンタウンボックス」というイベントを行ったり、直近ではインバウンド向けナイトコンテンツ拡充を目的にした「たかまつ国際夜市」の時に協働させていただきました。協働して感じたことは、青年会議所は地域の若手経済人の集まりであることからスピーディーにボリュームのある事業構築ができていることが素晴らしいと感じました。

インタビューの動画が閲覧できます



新しい感覚をもった 青年経済人の 地域を変えていく力

チャレンジユニバーシティ高松2020にプロアドバイザーボードとして協働させていただきました。ゼミ生と共に参加させていただいたのですが、ゼミ生それぞれが考え、一つの成果を出していったのはとても素晴らしく、また個々の成長に繋がったと思います。青年会議所は若いメンバーで構成されていて、新しい感覚を持ってドンドン前に出て地域を変えていこうと活動していることは素晴らしいことだと感じました。

インタビューの動画が閲覧できます



Greeting

『ご挨拶』

日頃より公益社団法人高松青年会議所（以下、JCI高松といいます）の活動にご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

JCI高松はまちをより良くする事業を通して、若い人に成長の機会を提供する団体として、65年前に発足されました。そしてこれまで高松で活躍する、20～40歳までの若い青年経済人が中心となり、地域と人々のために様々な事業を展開しながら、同時に多くのリーダーを育成してまいりました。

時代は大きく転換期を迎えて、将来を予測することが非常に難しい段階を迎えています。私たちの愛する地域社会の未来をより良い方向に導くためには、多くの人々や団体が繋がり、力を合わせ、前向きなアイデアを提案し、新しい価値を生み出していく必要があります。

JCI高松には地域社会で活動する100名近い若いメンバーと、800名近いOBの方々がいます。また日本国内だけでなく、世界中の青年会議所とも繋がりがあります。事業を生み出し、柔軟に展開していくパワーもあります。しかしながら、複雑で多様化する地域社会の問題を解決するためには、さらに多くの皆様と繋がりが必要であります。パートナーシップこそが新たな時代を切り拓く希望であると考えております。

JCI高松について、より深く知っていただくことを目的に本冊子を作成しております。

皆様と新しい繋がりが生まれ、豊かで明るい地域社会が創造される事を心よりご祈念申し上げ、理事長の挨拶とさせていただきます。

スローガン

「Change The World!」

～豊かな心溢れる 明るい未来に向けて ともに進もう～

基本方針

1. 幸せになるための自分づくり
2. 希望に導いてくれる繋がりづくり
3. 豊かな心を生み出すひとづくり
4. 明るい未来を描けるまちづくり
5. 柔軟にアップデートできる組織づくり
6. 勇気ある行動を生み出す絆づくり

YUUKI
TANIGUCHI

公益社団法人高松青年会議所
第61代理事長 谷口 雄紀





皆様の地域の課題、私たちがともに取り組みます。
ご意見ご要望等、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先

公益社団法人 高松青年会議所
〒760-0029
香川県高松市丸亀町 2-13 高松丸亀町式番街 3 号館 4F
TEL:087-811-4677
FAX:087-811-4678
E-mail: takamatsu-jc@ca.pikara.ne.jp
<https://takamatsu-jc.com/>

